

ビフェントリンくん煙剤 テルスタージェット	取扱メーカー： 日本曹達 原体メーカー： FMC
成分： ビフェントリン〔ピレスロイド系 PRTR・2種〕……………5.0%	性状： 類白色発煙性円柱状 径2.1～2.5mm、長さ2～20mm 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 殺虫・殺ダニ剤ビフェントリン（合成ピレスロイド系）を有効成分とするくん煙剤である。
- くん煙剤なので、ハウス内の湿度を高めず、作物の汚れも少なく、省力防除ができる。
- ハダニ類、アブラムシ類に高い効果を示す。
- 速効性に優れ、くん煙直後から強い殺虫力を示す。
- 登録の果菜類作物では収穫前日まで使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室内の容積によって使用量を決め、くん煙力所を数カ所に分けて配置し、煙が満遍なく行き渡るようにする。
- 日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 定植直後又は幼苗、軟弱徒長苗には使用しない。
- 室外で強い風が吹いている日は、煙が片寄ってしまい、均一効果がでにくいので使用しない。

- 高温時のくん煙は葉害を生じるおそれがあるので使用しない。

【安全対策上の注意】……………

- 点火後は、発煙を確かめたら直ちに退出し、開放後、十分換気してから入室する。
- 貯穀倉庫で保管中の小麦に対しては、煙が直接かかるおそれのない材質や性状の包装・容器に小麦を入れ、密封した状態で使用する。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、くん煙する施設に桑園が隣接する等、桑に付着するおそれがある場所では使用をさける。
- ミツバチに対して影響があるので以下のことに注意する。
 - 受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設等では使用をさける。
 - くん煙する施設内や周辺に巣箱がある場合は、巣箱を移動するなど直接ミツバチの巣箱に煙が暴露しないようにする。
 - 移動した巣箱は、少なくとも処理後3日間は室内に戻さないこと。
- 葉たばこ倉庫で使用する場合は、対象害虫の成虫飛来消長を調査しながら、投薬すると効果的である。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
小麦	貯穀倉庫	ノシメダグラメイガ ヒラタコクヌストモドキ コクゾウムシ	くん煙処理室 の容積100m ³ 当り 12 g～24 g	保管中	3回以内	くん煙	3回以内
ぶどう	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	ハダニ類	くん煙処理室 の容積400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m) 当り48 g	収穫前日まで	1回		2回以内 (散布は1回以内、くん煙剤は1回以内)
いちご					2回以内		2回以内
きゅうり		ハダニ類 ハスモンヨトウ			3回以内		3回以内
なす					アブラムシ類 ハダニ類		4回以内
メロン		ハダニ類		発生初期			3回以内
すいか							
花き類・観葉植物							
葉たばこ	葉たばこ倉庫	タバコシバンムシ チャマダグラメイガ	くん煙処理室 の容積100m ³ 当り 12.5 g～25 g	—	—		—